



シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

⑥8

さんびょうし (有限会社千奈利菓子店)



菓子処・千奈利は、西川口駅東口の商店街を歩いて5分ほどの老舗和菓子店。100年以上前に初代が創業したのは川口駅前だが、ここ西川口に移ってからすでに50年以上が経ち、このまちに欠かせない存在となっている。看板商品は、「さんびょうし」という名のどら焼き。軽やかなネーミングとは裏腹に、このどら焼き、とにかく大きくてずっしり重い。ふつうのどら焼きの1.5倍という説明だが、ガブリとやった筆者の実感では2つ分。大満足だ。

違いはサイズだけではない。大きな生地には埼玉県産の薄力粉・彩鏡を用い、たっぷりの餡は北海道十勝産の小豆と爽やかな甘さの鬼ザラ糖から作っている。美味しいから、最後の一口まで飽きることなく食べられる。パッケージには、三つ並んだ千成瓢箪とともに「美味、呼福、満足の三拍子」と書いてあるが、なるほどその通り。手土産として、自分への褒美として、いろんな場面で使いたい。

初代から直系の四代目、飯倉啓太さんはこの道に入って30年を超える。母のよし子さん、姉の高橋すみえさんとそのお子さん（五代目）との息の合ったチームワークで、老舗の味を守り、まちの人々の暮らしに彩を添え続けている。



■ 有限会社千奈利菓子店
四代目 飯倉 啓太

〒332-0034 川口市並木 3-5-22 URL:<https://r.goope.jp/sennari/>
(武蔵野銀行 西川口支店取引先)